

税について

行田市立長野中学校

二年 堀野 心桃花

「ここ、大丈夫？」母の声が遠くから聞こえるような気がして、目が覚めた。塾に行っていたのにどこだろうと思いつつ、少しずつ周りの景色が見えてきた。なんとなく病院だと分かってくるまで、救急車に乗ったような気もするし、頭がぼーっとして、よく思い出すことができなかった。よく見ると、父と姉も少し心配しているような顔で寝ている私を見ていたが、やっぱりぼんやりと夢の中にいるようだった。それから病院の先生が来て、診察しているようだった。その日のことは、今でも記憶がはっきりとしていない。

翌日の朝、目が覚めると知らないベッドで寝ていて、母が近くで座っていた。塾の帰りに倒れ、救急車で病院に運ばれた事を聞いた。体に力が入らず、起き上がることもできずに話を聞いていた。まだ頭がぼーっとしている感じではっきりしない。別の病院に緊急搬送し、心臓の動きに異常があるので、検査すると言われたことを覚えている。

結局、一カ月近く入院をして、完全復帰ではないが、退院することになった。今も月に一回は検査や診察のために通院している。退院する時にたくさんお金を払っているのを見て父に大丈夫なのか聞いた。父は、子ども医療費で負担してもらえらるから、

後で払った分は返ってくるとのことだった。

今回、税金の事を考えるときに、これまでの入院や通院のことかと思いついた。母に聞くと、今回の病気だけではなく、私が生まれる前から、税金による補助を受けていたと話してくれた。出産、幼稚園、小学校、中学校これまで私が育ってきた環境には、多くの税金により、守られてきたと知った。さらに警察や消防、道路など、多くのものに税金が使われていて、多くの人が、これに助けられて生活している。税金はなくてはならない大切な決まりだと感じた。私を病気から助けてくれたのも税金ではと感じたりもした。同時に税金は父母も含めて大人が納税しているから成り立っている事も理解した。

最近では、消費税が八%から十%に増えるとテレビで言っていたことも思い出した。難しいことは分からなかったが、税金が足りないため増税するのだと自分なりに理解することができた。そして税の良い所悪い所を考えてみたが、税金を大切に使うべきだと強く思うことができた。

最後に、私はこれまで税金に守られて育ってきた。これから税金に助けられ生活をする事になると思う。私自身が大人になり税金を支払う義務が発生した時は、しっかりと納税したいと思う。これまで、父や母、大人の人達がしっかりと納税した事で私が助けられたように、私自身も未来の子ども達や社会全体の生活環境を良くする手助けをしたいと思う。また税金に関心をもち、少しでも社会全体の助けになれるような大人になりたいと感じた。